

# まちの話題

## 各地域で恒例の夏祭り

7月に行われた八鹿夏まつりに続き、他の3地域でも恒例の夏祭りが行われ、各会場は家族連れや帰省客などで賑わいました。



氷ノ山太鼓の演奏を聴く来場者

8月25日には、関宮コミュニティスポーツセンターで「せきのみやふれあいまつり」を開催。関宮小学校金管バンドと関宮中学校吹奏楽部の演奏がオープニングを飾った後、会場に設けられた特設ステージでは、吉本興業所属タレントによるお笑いライブ、迫力ある氷ノ山太鼓の演奏など多彩な催しが行われました。最後に夜空を彩る約900発の花火が打ち上げられ、祭りは幕を閉じました。

## 北近畿豊岡自動車道の早期整備に向けて促進大会を開催

豊岡市と丹波市を結ぶ北近畿豊岡自動車道の早期実現促進大会が8月26日、八鹿文化会館ホールで開催されました。大会には国会議員や国土交通省道路局長らの来賓をはじめ、但馬の各市町長や議会議員、住民ら約900人が参加。住民代表2人が「商工業の発展や企業誘致に大きな力となる」「環境対策などを克服して早期に完成されることを願う」と意見を発した後、「早期整備を要望するとともに、地域に暮らす私たちは魅力ある地域づくりに取り組み」とした決議文を採択しました。

引き続き、但馬を拓く道づくりシンポジウムが開催され、国土交通省道路局長による講演やパネルディスカッションが行われました。



早期整備に向けて開催された促進大会

## ちびっ子親善使節団が北海道留寿都村を訪問

昭和56年に養父市（旧養父町）と北海道の留寿都村が姉妹提携を締結して以降、市民同士のさまざまな交流事業が実施されてきました。今年も7月下旬から8月上旬にかけて、双方の小学生らが交流しました。

まず、7月24日から27日、市内の小学生21人がちびっ子親善使節団として留寿都村を訪問。昭和南山や熊牧場などを見学したほか、留寿都村の小学生とルスツリゾートなどで交流し、楽しい時間を過ごしました。訪問を終えた小畑佳祐さん（大屋小6年）は「留寿都村の小学生と友達になれて楽しい思い出ができました」と感想を話しました。

7月31日から8月1日には、留寿都村の小学生7人が養父市を訪れ、養父市場の錦鯉や養父神社などを見学。子どもたちは、お互いのまちの魅力を肌で感じながら、心と心の交流を深めました。



ジンギスカン料理を囲んで交流を深める子どもたち(留寿都村)